

# 筑波大学内の駐輪場と不法駐輪の分布の調査

西 暁史（地球科学専攻）

1. 目的：本調査では、筑波大学内の不法駐輪のある地域の特定とその原因の解明をするために、筑波大学内の自転車の分布と駐輪場の分布の調査を行った。

2. 調査：調査地域は筑波大学内（第1エリア、第2エリア、第3エリア）とした。調査項目は筑波大学内における自転車の位置、数と駐輪場の位置を調べた。

3. 解析手法：駐輪の位置はGPSのウェイポイントで記録した。ArcGISで駐輪場の位置と駐輪位置をプロットして、その位置を比較した。

## 4. 結果、考察

○駐輪台数と違法駐輪の割合

表 1 2011年11月28日（月）午後の駐輪台数

	自転車	バイク
正規の駐輪	2649台	84台
違法駐輪	1749台	95台
違法駐輪の割合	39.8%	53.0%

○違法駐輪が多かったところ（図1参照）

自然科学系棟周辺、2G棟 3K棟周辺、総合研究棟A周辺、総合研究棟B周辺、理科系修士棟周辺、生物農林学系棟周辺、文化系サークル会館周辺、人文社会学系棟周辺、中央図書館周辺

○分布の特徴と対策

自転車の分布から、秋休み中なので、学内に大学院生が多くいたと考えられる。また駐輪、違法駐輪ともに建物の入り口付近に多いことがわかった。

次に違法駐輪が多かった地域の特徴を見る。総合研究棟A周辺、総合研究棟B周辺の違法駐輪は、駐

輪場が近くにあるにもかかわらず違法駐輪が発生している。その反面、自然科学系棟周辺では明らかに駐輪場が少ない。そのため違法駐輪が発生していると考えられる。同様に2G棟、3K棟周辺はペDESTリアン沿いに駐輪場がないため、違法駐輪が発生していると考えられる。これらの結果から自然科学系棟周辺、2G棟、3K棟周辺に関しては駐輪場を増設することで違法駐輪が少なくなるのではないかと考えられる。

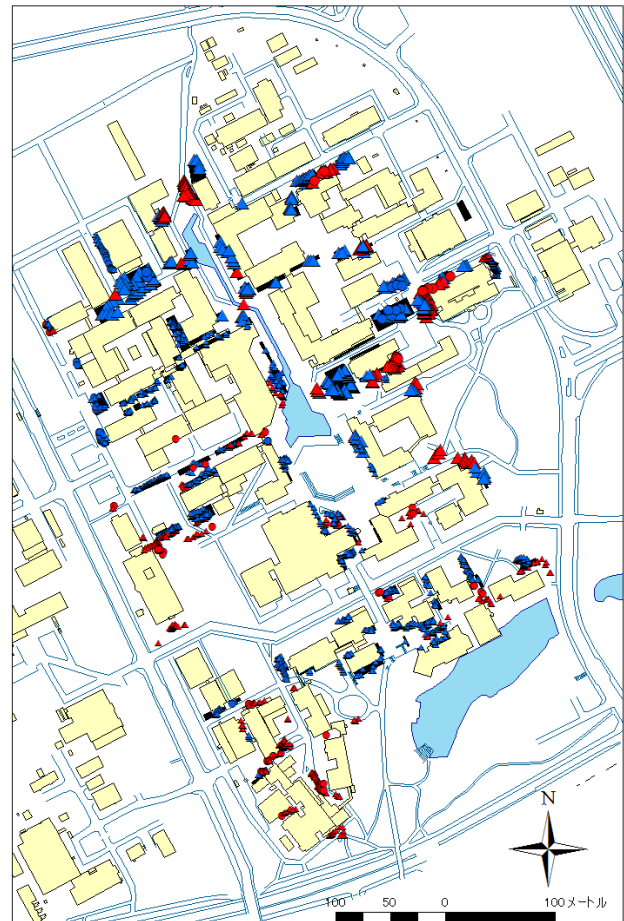


図 1  
筑波大学内における自転車の分布  
三角：自転車、丸：バイク、  
青：駐輪、赤：不法駐輪、  
大きい：4台分、小さい：1台分  
黒四角形：駐輪場